

団長の独り言

5月21日(土)「顔合わせ」

ついに稽古再開の日がやってきた。何か月ぶり？えーっと前回の「久美・美容室物語」の最終通し稽古を行ったのが2月6日(日)だったから3か月半ぶりか。

この日は朝からお仕事で、稽古初日なのに大幅に遅刻する事は確かだったので、稽古初日にいきなり代表が遅刻するのもなんだかモチベーションが下がるよなあ……と思い、稽古の開始時間を30分遅らせてもらおう。

ただ意外と道路が空いていて、いつもの稽古時間には、稽古場に到着出来たのでそれは何より。

駐車場に平野カーを止め、大きく深呼吸し稽古場となる部屋へと歩みを進めるが、みんなの顔を見るのが照れくさいやら緊張するやら。

面白いなあ〜こんな感情になるんだね。

稽古場に顔を出すと、すでにほとんどのメンバーが顔を揃えていて、新メンバーとなる方も緊張した面持ちで、配られた資料に目を通していた。

その後も続々とやってくるメンバー達で稽古場は賑やかとなり、すっごくいい雰囲気の中、活動開始！

まずは、とにもかくにも自己紹介から。前回の久美美容室に出演したほぼ全てのメンバーが41回公演「久美・美容室物語 板橋公演」と42回公演「人生芸夢〜夢のとおり道〜」の両方に出演するのだが、4名のメンバーが新たに加わったので、やはり自己紹介はしないと。

笑顔と緊張感の中での自己紹介を聴きながら、2つの公演の出演者全員欠席者もなく集まってくれたってのは、何とも嬉しい限りだ。

稽古スケジュールとしては、6月、7月が「42回公演、人生芸夢〜夢のとおり道〜」の稽古で、8月、9月、10月が「久美・美容室物語板橋公演」、そしてまた、11月、12月、1月、2月に「人生芸夢〜夢のとおり道〜」の稽古となる。

つまり、これまでのように1公演を終えたら1か月ちよいのお休みという期間がなく、来年の2月までぶっ通しで劇団ふぁんハウス漬けとなるのだ。

そんな長期戦での稽古の初日に、全員が顔を揃えてくれたってのは、そりゃー熱意とやる気も増すってもの。

自己紹介を終えると、キャストینگ選考を兼ねた読み合わせを行う。

皆さんには、「人生芸夢」のシーンのみ印刷したものを配りまして、「誰々

さんは何々役」と大体決めておいた役を各メンバーに振って、シーン1をまずは黙読し、15分後に読み合わせ開始。

シーン1を、たった1回だけの「黙読」で演じてもらうので、皆さんは物語の全体像も分からず、自分の役がどんな役なのか？把握しない中での読み合わせであるにも関わらずいい感じ。

私の描いていたイメージ通りの芝居を見せてくれるので、この分だと大きなキャスト変更はせずとも、決めておいた役の人物でも特に問題はなかったのですが、そのままのキャストで、今度は気になる点、もっとこうして欲しいという点など、多少のダメ出しを入れつつ読んでもらえば、いやあー楽しい！完全にストーリーの世界に引き込まれている私。

さあ！次は？次は？と思いつながら皆さんの読み合わせを聴いていると、何だか知らないけれど、突然読み合わせが止まってしまふ。

「なんだよ！次も早く聴きたいんだけど！」と思いつながら、「はい！次、けて！」と指示すると、みんなポカーンとして……どうしたんだ？この空気は！？と思っていたら、誰かが「あの……ここまでなんですけど」と言う。

「えっ？」と思ってよくよく脚本を見れば、シーン1が終わっていたんです。

あの……説明しますと、私はパソコンに入れている第1稿の完全版の脚本を見ながら読み合わせをしていたので、シーン2、シーン3と続いているのだが、みんなはシーン1しかもっていないので、「次！続けて！」と言われても、続けられない……そんな事を忘れるくらいレベルの高い読み合わせだった。

次に「久美・美容室物語」に初参加してくれる上野友記子ちゃんと、岡田香錦さんを交えての「久美・美容室物語」の読み合わせを行う。

ゆきちゃん、第25回公演「ありがとう、お父さん」以来だから、約10年ぶりのふぁんハウスで、香錦さんは、ふぁんハウス初登場！前々回の「ぎ・クリーンキーパー」と前回の「久美・美容室物語」を御覧になってのご参加だ。

お二方とも、一度出来上がった座組の中に入るの、かなりのプレッシャーがあるかと思うのだが、違和感なくすんわり、「久美・美容室」の世界に溶け込み、セリフさえ入れば、すぐにでも本番が迎ええられるんじゃないか？ってくらいに素晴らしい芝居。

こうして、とっても充実した顔合わせとなり、劇団ふぁんハウスって素敵な劇団だなあ〜って、みんなの笑顔を観ながら、「熱意」と「やる気」に燃える団長でありました。